

「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」の 編集にあたって

城 和貴^{a)}

前任の伊藤先生に代わり、2012年4月より、城が情報処理学会論文誌数理モデル化と応用の編集委員長を務めております。前編集委員長には、4年間にわたり本論文誌の取りまとめに御尽力いただいたこと、深く御礼申し上げます。なお、伊藤先生には副編集委員長として引き続き本論文誌の編集に携わっていただいています。また、北先生にも副編集委員長を継続していただいています。

さて、2012年度最初のTOMの発刊です。今号では、2011年4月開催のMPS81（電気通信大学）から6編を掲載しており、すべてがオリジナル論文となっています。TOM33の採録論文数/投稿論文数は6/9で、採択率は66%となっており、担当編集委員は古谷博史、北栄輔、高田司郎、滝沢泰久、高間康史、小林聡、野中秀俊、尹熙元、笹倉万里子（敬称略）となっています。今年度の残りの発刊は9月と年明け1月を予定しています。

論文誌の編集委員会組織というのは、読者の皆様はあまり把握されていないかと思いますが、実は私は2008年3月まで編集委員長を務めさせていただいておりました。で、編集委員長に予定していた方が今年度きわめて多忙とのことで、急きょピンチヒッターで私が担当することになった次第です。そのため、今年度の委員組織もまだ暫定で、年度途中で新任の委員や副委員長が増えると思います。なお、昨年度で委員を退任される方は加藤毅、佐山弘樹、柴田直樹、高田喜朗、西野哲朗、花田良子、山口一章（敬称略）となっております。長い間ありがとうございました。またの復帰をお待ち申し上げます。また、今年度から新たに委員になっていただく方は海蔵寺大成、久保山哲二、堀井宏祐、田口亮（敬称略）となっています。よろしくお願ひします。

TOMに掲載される論文はコンピュータサイエンスの境界領域を含む非常に広範囲なものになっています。そのため広い分野に対応できるように多くの編集委員を必要としていますが、これまでも慢性的に編集委員が不足している状態です。TOMでは編集委員を常時募集していますので、自

薦・他薦を問わず興味のある方は城 (joe@ics.nara-wu.ac.jp) までご一報ください。

本論文誌の配布はオンライン版のみとなっています。なお、論文誌の定期購読制度もありますので、ぜひ、こちらもご利用ください。また、研究会開催記録、研究会登録案内、投稿案内などに関する最新の情報はすべてWWWページ上に掲載しております。すべての情報は研究会ウェブページ (<http://www.ipsj.or.jp/sig/mps/>) よりたどることができますので、MPS研究会および論文誌TOMに関しては、そちらをご参照くださいますよう、お願い申し上げます。

¹ 情報処理学会論文誌「数理モデル化と応用」編集委員長
奈良女子大学
Nara Women's University, Nara 630-8506, Japan

^{a)} joe@ics.nara-wu.ac.jp